

の対象となるとは考えていない。また、こうした地域住民が長きにわたり望まれている事業を進めることは、まさに「地域主権の確立」につながるものである。

◆関連質問

- ・衆議院総選挙の結果に対する市長の思いは (水曜会)
- ・民主党マニフェストの地方財政などへの影響は (公明党)
- ・歴史的政権交代に対する市長の感想は (市民連合)
- ・政権交代について (新政クラブ)

合併後のまちづくりについて (市民連合)

問 本市は、新市、内海、沼隈、神辺町と合併し、市民センター機能の拡充や地域振興課の設置など行政体制の整備を図ってきたが、この間の検証や将来のまちづくりを展望する時期を迎えているのではないか。合併設計画の進捗や財政効果などは。

答 2003年度から2009年度までの合併設計画の計画事

業費に対する予算化率は78・5%で、町別では70%弱から90%程度となっている。事業数は4町合計189事業で、完了および実施中が148事業で事業化率は78・3%である。合併以降、行政体制の整備に伴う経費節減や、合併特例債の活用など一定の財政効果があつたと考える。今後とも、住民の自主的・自立的な活動を基本に、創意工夫と積極的な住民参加によるまちづくりを進める。



合併設計画で新築された神辺保育所

公務労働拡大の成果は (明公会)

問 福山市職労は「行財政改革」のもとで進行している住民サービスの切り捨てや自治体職員の人員削減、低コストのみを目的化した民営化・民間委託

に対抗するため、自らの仕事を見直す「公務労働拡大」の取り組みをスタートさせた」と述べている。この考えは行財政改革に逆行するとも考えられるが、公務労働拡大が行財政改革を上回る成果を上げているのか。

答 公務労働拡大は、業務を検証し市民ニーズに応える行政サービスを作り上げるものである。市民との協働で行った「道三川のせんだ作業」「弁天島不法投棄クリーン作戦」「ばら祭ごみ分別隊」などは、集中改革プランの重要な柱の一つである「協働のまちづくり」の分野においても、地域住民や各種団体からも高い評価をいただいております。行財政改革の推進に十分な成果を上げている。

経済危機対策への取り組みは (公明党)

問 本市がこれまで取り組んだ経済危機対策について、補正予算額、当初予算額など措置された予算規模はそれぞれいくらか。

答 前年度では、1月の補正予

算で市独自の対応で約3億円、また3月に生活対策臨時交付金事業や定額給付金交付事業など約86億円を対応。今年度では、当初予算で緊急雇用創出事業として約1億5000万円、6月の補正予算で経済危機対策臨時交付金事業を中心に約13億6000万円。9月補正予算でも経済危機対策臨時交付金事業など約27億8000万円を計上し、全体ではこれまで5回の予算対応で約131億9000万円である。

◆関連質問

- ・公共工事の前倒し発注など景気対策とその効果について (市民連合)
- ・産業振興について (新政クラブ)
- ・中小業者の仕事確保のための制度の創設を求める (日本共産党)

中央図書館について (公明党)

問 開館から1年が経過したが①今日までの利用および図書書の貸し出し状況②司書の配置